

コミュニティ なるお



○発行日
2026. 9. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47—0101

わがまち あつひや つひや

学文地区子ども会協議会会長

川本 輝子さん



子どもたちの笑顔があふれる地域であり続けてほしい。そんな願いを胸に、長年にわたって子ども会活動に携わってきた川本輝子さん。地域の子どもは地域で育てるという思いの下、多くの子どもたちや保護者と関わりながら、地域づくりに尽力してきました。その歩みと変わらぬ思いを聞きました。

地域との出会いが

活動の原点

息子さんが小学校に入学した際、地域の人から声を掛けられたことをきっかけに子ども会活動を始めた川本さん。小松東町子ども会での活動から、学文地区子ども会協議会、西宮市子ども会協議会へと活動の場を広げ、長年にわたり地域の子どもたちを見守り続けてきました。

川本さんが大切にしているのは、「子ども会は、子どもの手による、子どもが中心の活動である」ということです。遊びを通じて異年齢の子どもたちが交流し、自然体験や地域での活動を重ねる中で、自分の命を自分で守る力、生きる力を育ててほしいと願っています。

「子どもたちには、ふるさ

と西宮を知り、西宮を愛する子になってほしい」。その思いは、長年の活動を通して変わることはありません。

地域と共に

育む子どもたち

学文地区では、子どもたちに人気の「学文プレーパーク」など、親子で楽しめる行事にも力を入れてきました。近年は共働き家庭も増え、保護者の負担を少なくするため、会議を減らしたり、できる人が



学文プレーパークで「スマイルバフォーマークQちゃん」のステージを楽しむ子どもたち

できる形で関われるよう工夫してきただけでいいです。最近

は父親

の参加も増え、地域活動の在り方も少しずつ変わってきました。

子ども会以外でも、青少年愛護協議会の活動を通じて、小学生と中学生が一緒に遊び交流する行事にも携わっています。「小学生にとって中学生のお兄さん、お姉さんは憧れの存在。年上の子が年下の

中学生のお兄さんお姉さんと協力しながら工作を楽しむ子どもたち



子进行を思いやり、年下の子は年上の子を手本にながら成長していく姿をたくさん見てきました。学校だけでは得られない異年齢交流は、子どもたちにとって大切な経験です」と話します。

地域への感謝を胸に

川本さんは、長年の活動が評価され、令和4年度の社会教育功労者表彰を受賞しました。

しかし本人は「表彰は通過点。頂けたことは本当にありがたいことです。何より子どもたちの笑顔がうれしいです。また、困ったときには、



令和4年度社会教育功労者表彰の受賞時

いつも周囲の方々が手を差し伸べてくださり、地域の皆さまに育てていただいたと深く感謝しています」と話します。子ども会だけでなく、地域の居場所づくりに関わり続けている川本さん。憩いの家での手伝いやお茶会など、地域の人が集う場にも足を運んでいます。

「地域につながっていることが、自分の元気にもつながっています」川本さんの言葉には、長年地域に寄り添ってきた人ならではの実感があります。

「地域の子どもは地域で守る」。そして、子どもだけでなく、地域の人みんなを支え合う。そんな地域の温かさを、川本さんは今も変わらず大切にしています。

歴史街道・旧国道を歩く②

岡太神社から甲子園六石町

今回は、岡太神社から旧国道(中国街道)を西へたどります。街道沿いには、戦争遺跡やかつての競馬場へ向かう道、町名の変遷など、時代の移り変わりを感じさせる見どころが続きます。

小松内大臣平重盛之城趾と 鳴尾小松住宅

岡太神社から旧国道を歩いていくと、まもなく幹線道路の小曽根線と交差します。

小曽根線との交差点➡



左(南側)は鳴尾小松住宅①



本郷学文筋交差点。北へ進むと小曽根線に至る②

その手前左側には、総戸数207戸の大規模マンション「鳴尾小松住宅」が建っています。この場所には、かつて「小松内大臣平重盛之城趾」の碑がありましたが、マンション建設に伴い、昭和46(1971)年に岡太神社境内へ移設されました。

戦争の記憶を伝える石橋

次の交差点、本郷学文筋の北側では、斜めに流れていた用水路の埋め立て工事が行われています。

この用水路に架かっていた

「弾痕の残る石橋」は、昭和20(1945)年8月6日未明の米軍による空襲で、逃げ遅れて亡くなった悲しい出来事を今に伝える戦争遺跡です。現在は、学文公民館北側の学文殿公園へ移設され、保存されています。

西の競馬道

この交差点を南へ進むと、かつての鳴尾銀座通りを経て臨港線に至ります。戦前、この道は鳴尾競馬場へ続いていたことから、「西の競馬道」と呼ばれていました。

旧国道から競馬場へ至るこの道路は、当時の鳴尾村が無償で提供したものです。

枝川の渡しと四軒茶屋

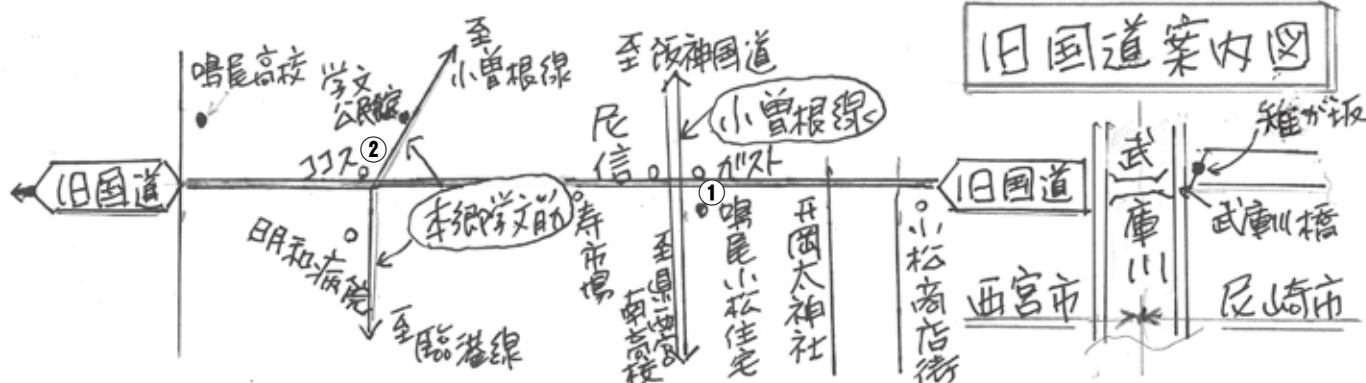
旧国道は、この辺りから緩やかな上り坂となり、やがて甲子園筋へと続きます。

この道路は、大正12(1923)年に武庫川の分流だった枝川を埋め立てて整備された道



ケヤキの若木。右(北側)は花園町付近③

旧国道案内図



医療法人 信和会
明和病院

HP



LINE



〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31
TEL 0798-47-1767(代表)
0570-0-89470(患者さん専用)
ホームページ <https://www.meiwa-hospital.com>

関連医療機関:

めいわりハビリテーション病院/
明和がんクリニック/ILGA-西宮・
めいわりクリニック/訪問看護センター明和
居宅介護支援事業所

2027年5月
新棟オープン予定!!



実際に誇張された数字とも考えられますが、それだけの当時の街道が多くの人々でにぎわっていたことを物語る呼び名だったのでしょう。

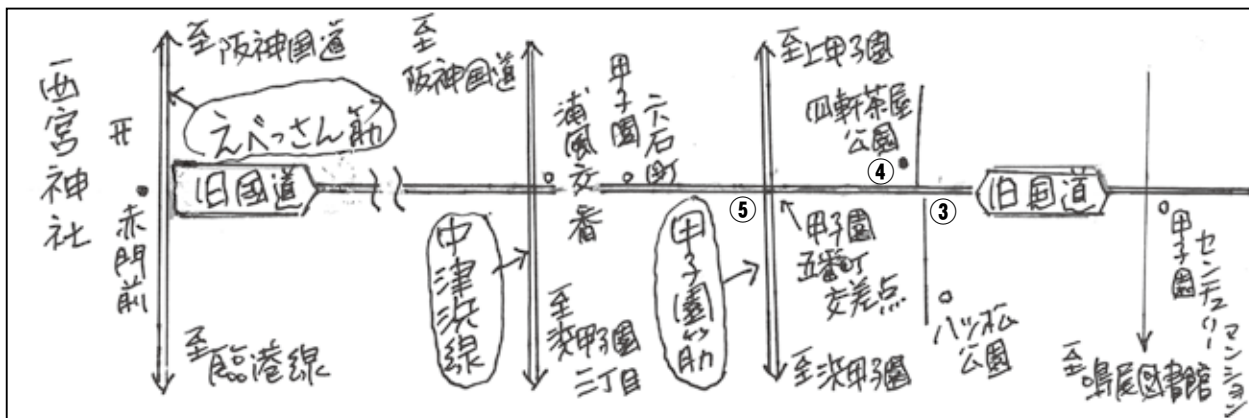
明治時代以降は「鳴尾イチゴ」の栽培が盛んになりましたが、鳴尾西瓜も地域を代表する名産品として長く親しまれ、茶屋では、武庫川の伏流水で冷やした鳴尾西瓜が旅人に振る舞われ、夏の風物詩となっていたと伝えられています。

現在の旧国道と甲子園筋の交差点には、「旧国道」と「甲子園五番町」の標識は設置されていますが、不思議なことに「甲子園筋」の標識は見当たありません。

もともと昭和27年から「今津六石町」と呼ばれていました。が、昭和39年に「今津」の名称を外し、「甲子園六石町」と改称されました。これは、全国的に広く知られる「甲子園」の名を町名に採用したものです。



旧国道沿いでは、この他にも三保町、浦風町、浜田町などが同様に「甲子園」を冠した町名へと改められました。



参考文献…『鳴尾村誌』町名の話『西宮の歴史と文化』山下忠男著



東洋建設

[大阪本店] 大阪市中央区高麗橋 4-1-1 TEL 06-6209-8711 [鳴尾研究所] 西宮市鳴尾1-25-1 TEL 0798-43-0661



甲子園浜

愛犬と一緒に学ぶペット防災

一般社団法人
まちなね浜甲子
園主催の「ペット防災お
さんぽフェスタ」が、6月
27日に雨天の中、UR浜
甲子園団地なぎさ街で開
催されました。

当日は、阪神・淡路大震
災を教訓に活動している
「りぐこうべ兵庫」による
ペットの防災についての
お話し会やペット関連の
出店もありました。

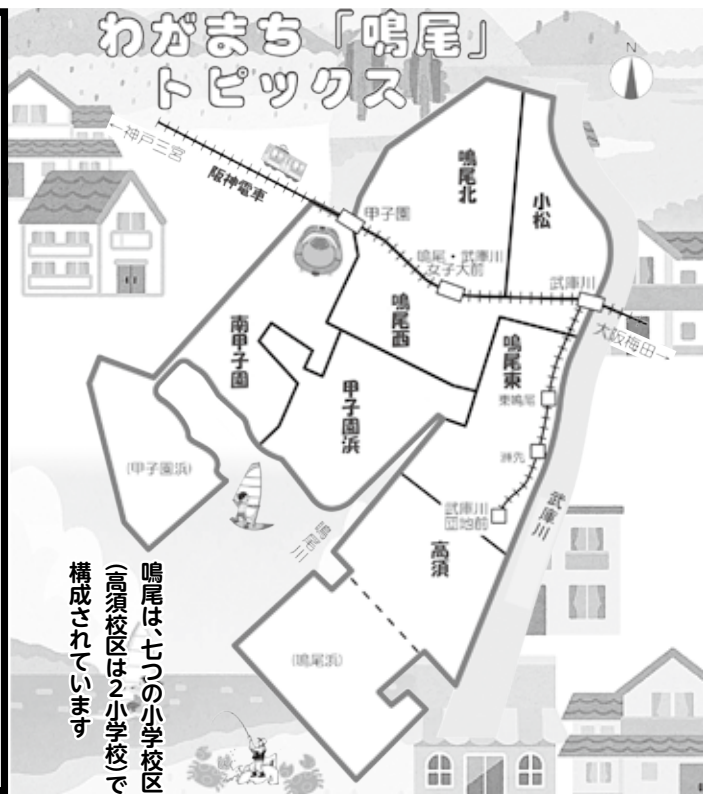
終盤に晴れ間が見え、
屋外でのクレートに入る
しつけ体験が行われ、愛
犬がうまく入るたびに飼
い主から歓声が上がって
いました。



終盤の晴れ間



クレートに入るしつけ体験



鳴尾は、七つの小学校区
(高須校区は2小学校区
構成されています)

南甲子園

ご存じでしょうか？
月見里公園の蒸気機関車を！

昭和51(1976)年11月より長きにわたり、月見
里公園の一角に保管されている蒸気機関車「C11-
311号機」は、長らく手付かずで、ひどく傷んでいま
しが、令和6年に結成された甲子園SL鐵道保存協力会
の皆さんで大幅な修復作業が行
われています。

月見里公園に設置されて
50年。その間、地域住民の
人々に見守られてきた機関
車を、今後は多くの人に触れ
てもらえるように修復を進めるそうです。

公園清掃日や作業日に鉄道写真展を開催予定です。阪神
甲子園球場のほど近くです。家族で見学に行きましょう。



修復中のC11-311号機



活躍当時の勇姿

写真提供：甲子園SL鐵道保存協力会

こどもフェスタ・赤胴車マルシェ

高須

5月17日、夏のような日差しの中、こどもフェス
タ・赤胴車マルシェのイベントがありました。どの
ブースも子どもたちが列をなしていましたが、中でも「ふ
れあい動物園」のブ
ースは、ヤギ、ヒツジ、ウ
サギ、モルモットなど
かわいい動物に魅せら
れた子どもたちの列
が、会場を1周するほ
どの人気でした。

ヤギやヒツジとのふれあ
いを楽しむ子どもたち

ごみ分別チャレンジコーナーは、数あるごみの種類を釣
り上げて分別回収箱に入れると
いうゲームです。子どもたちが
真剣な面持ちで釣り上げ、考え
ながら、またスタッフのアドバ
イスを聞いて次々と回収箱へ運
んでいました。



遊びながらごみの分別を学べる
「ごみ分別チャレンジ」
4月からごみの新分別区分収
集になって、不慣れな時期で
したが、家に帰った子どもたちが「これはこうだよ」と家族に
教えていたかもしれません。



ライフは、鳴尾地域の皆さまの毎日のくらしに
おいしい・ワクワク・ハッピーをお届けします

阪神鳴尾店

TEL 0798(40)6111
兵庫県西宮市里中町3-13-40

インスタグラム実施中!



浜甲子園店

TEL 0798(43)3611
兵庫県西宮市甲子園九番町11-62

ライフアプリの
ダウンロードは
こちら



ライフ公式HPはこちら <http://www.lifecorp.jp/>

鳴尾北

10町会が熱戦 ポッチャで交流深める

鳴尾北地区社会福祉協議会主催の10町会対抗ポッチャ交流会が、6月13日に学文中学校体育館で催されました。

当日は26チームが6コートに分かれて競いました。

各コートで得点を競い合い、そのコートで一番得点の多いチームが優勝します。



世代を超えて楽しめるポッチャ大会に笑顔があふれました

— 競技結果 —

- ①里中スマイル 20点 ②学文B20点
 - ③ミラクル若草 16点 ④甲六たんチャ 22点
 - ⑤甲六ぼぼチャ 36点 ⑥甲五C16点
- の6チームが優勝しました。

最高得点は、甲六ぼぼチャの36点でした。話を聞いてみると「練習あるのみ!!」と答えていました。

鳴尾西

西畑の文化村

阪神甲子園駅前の松林の東側、甲子園七番町にある西畑公園。この場所には、大正時代に阪神電鉄が建設した和洋折衷様式の賃貸住宅約70戸が立ち並んでいました。文士や、大阪・神戸の裁判官ら文化人が多数住んでいたことから、一帯は「西畑の文化村」と呼ばれ、阪神間モダニズムを象徴する住宅地として知られていました。

今年4月29日に102歳で亡くなった作家・佐藤愛子さんも幼少期をここで過ごし、鳴尾小学校へ通っていました。しかし、昭和20(1945)年8月6日未明のアメリカ軍による空襲で文化村は一夜にして焼失。その数時間後には広島へ原子爆弾が投下されます。

現在は西畑公園が、かつてこの地に文化の薫る住宅地があったことを静かに伝えています。



時々このベンチに座り、当時のことを想像しています

回覧板からLINEを使う上田自治会

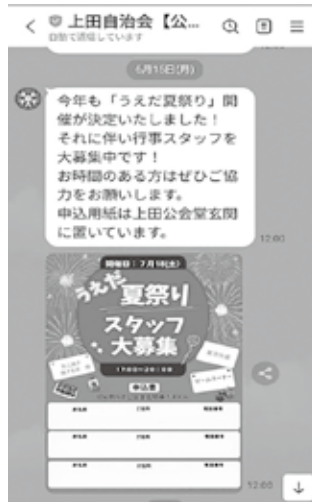
上田自治会では昨年6月から、LINEを使ってホームページを運営しています。自治会の若い人たちを中心に、現在の登録者は約300人くらいです。

スマートフォンが苦手な会員には事前にアンケートを実施し、希望者には従来どおりチラシを配布するなど配慮しています。印刷費や配布の負担軽減に加え、迅速な情報発信や広報効果の向上を実感しているとのこと。

会員以外の閲覧で、地域外からのイベント参加につながるという思わぬ効果も生まれました。

メンテナンスなどで、若い会員が活躍できる場が出来るなど、自治会活動のすそ野が広がり、うれしい想定外もあったようです。

従来の枠組みから不慣れなことに挑戦して、成果を上げている自治会の姿を感じました。



自治会のライン画面

小松

小松小「しゃべりば CAFÉ」開催

第3回「しゃべりばCAFÉ」が、6月12日に小松小学校で開催されました。この取り組みは、小松っ子を見守り育てる保護者・学校・地域が集い、子どもたちの未来について語り合う場です。

今回のテーマは「子どもたちの安全」。第1部では、水泳の授業前に教職員が受講している救命救急講習に保護者や地域の皆さんも参加し、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。学校がさまざまな場面を想定し、日頃から安全対策に取り組んでいることへの理解も深まりました。

第2部では、「自転車の乗り方」や「SNSとの向き合い方」などについて意見を交わし、保護者・学校・地域が連携して子どもたちを見守ることの大切さを再確認する、有意義な交流の場となりました。



命を守る講習。みんな、真剣です!

創業 明治20年



高山堂

www.takayamado.com

【通信販売】 ☎ 0120-76-3321
西宮本店 TEL 0798-67-7918

西宮銘菓

スイートよーめいと



スマホカメラで
簡単お買い物!
オンラインで
ご注文はこちら



意外と知らない自治会のこと

【Part. 2】自治会長にインタビュー！

～鳴尾のまちを支える地域の力～



役員の高齢化や会員数の減少により、自治会運営は年々難しさを増しています。では、地域を支える自治会長は、どのような課題を感じ、どのような思いで地域づくりに取り組んでいるのでしょうか。

そこで今回、鳴尾東校区の4自治会(東鳴尾1丁目・東鳴尾2丁目・笠屋町・上田町)の自治会長に、共通する8つの質問でインタビューを行いました。

今回は個々の回答ではなく、回答から自治会の現状や課題、これからの自治会運営へのヒントを探ります。

今回の質問

- ① 役員の平均年齢は？
- ② 自治会の存在が重要と感じる時は？
- ③ より、充実させたい活動とその阻害要因は？
- ④ 地域に貢献していると感じられる活動は？
- ⑤ 地域に考えてもらいたいことは？
- ⑥ 行政にやってほしいことは？
- ⑦ これからも自治会が必要と思うか？
- ⑧ 会長が考える自治会活動の阻害要因は？



回答の概要

- ① 3役については正確に答えることが出来た自治会長もいましたが、正確に年齢をつかんでいないことが分かりました。また、専門部長などを含めると、全員が70代以上というわけではなく、若い世代が育っている自治会も存在することが分かりました。
- ② 「住みよいまちづくり」といった理念を語る自治会長もいれば、「あまり意識したことがない」と率直に話す人、具体的な活動内容を中心に語る人もおり、活動の温度差を感じました。
- ③・④ 住民同士のコミュニケーションを深めることや高齢化への対応を充実させたいとの回答が多く聞かれましたが、具体的な目標を設定している自治会は少ないようでした。活動を進める上で、個人情報保護の観点から制約や配慮が一層求められるようになったことが、共通する課題として挙げられました。
- ⑤ 圧倒的に、役員のなり手不足でした。
- ⑥ 「役所の窓口との距離を感じる」という意見が印象に残りました。また、担当者の定期異動により、築いた信頼関係が継続しにくいことを課題として挙げる自治会もありました。
- ⑦ 単刀直入な質問には、皆さん「必要」「絶対必要」と答えていました。
- ⑧ 若返りや必要なスキルを持つ人材の確保、住民の無関心、役員会で自分の意見を言いにくい雰囲気があるなどが、自治会活動の阻害要因として挙げられました。

取材を通じて感じたのは、理念を中心に語る自治会と、具体的な活動を生き生きと語る自治会があったことです。地域づくりは、まず一步を踏み出すことから始まります。

「転がる石に苔は生えない(ローリングストーン)」の精神が、自治会活動にも大切なのではないのでしょうか。



社会福祉法人
円勝会

広告

シルバーコースト 甲子園

〒663-8143 兵庫県西宮市枝川町17-40
TEL 0798-43-0470 FAX 0798-43-0621

第2シルバーコースト 甲子園

〒663-8143 兵庫県西宮市枝川町17-55
TEL 0798-43-0801 FAX 0798-43-9155

ドリーム 甲子園

〒663-8143 兵庫県西宮市枝川町17-41
TEL 0798-42-6510 FAX 0798-42-6511

●特別養護老人ホーム ●デイサービスセンター ●ショートステイ ●ホームヘルプサービス
●居宅介護支援サービス ●西宮市高齢者あんしん窓口浜甲子園(地域包括支援センター)

介護職(常勤・非常勤)募集 ◎7:00～20:00の間で4～8時間 週2日以上から応相談

●ユニット型特別養護老人ホーム ●デイサービス(一般型・認知症対応型)
●ショートステイ ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護
●サービス付き高齢者向け住宅 2人部屋・1人部屋(浴室付・共同浴室)
介護職(常勤・非常勤)・看護職(常勤)募集 週2日から応相談、お気軽にお問い合わせ下さい

●多機能型障害福祉施設
生活介護第1単位、第2単位
就労継続支援B型／自立訓練(生活訓練)
●相談支援事業 ●グループホーム事業

② 甲子園警察署での学び

27、28日の2日間は、初めて体験することばかりでした。中でも、指紋採取と逮捕術が大きく印象に残っています。

指紋採取では白い粉を使い、実際にうまく採取できたことが自慢で、とても思い出に残っています。逮捕術では、ちょうど大会の準備期間だったため、その練習にも少し参加させてもらいました。

2日間という短い期間でしたが、警察官の街を守る仕事について大切なことをたくさん学ぶことができて良かったです。

うしお あんな
潮 杏奈(写真中央)

トライやる・ウィーク体験記

鳴尾中学校2年生3人が、5月25日から29日までの5日間、「トライやる・ウィーク」に参加しました。3カ所の事業所で仕事を体験し、働くことの大変さや楽しさを学びました。その体験を3人が紹介します。



さくらFMにて撮影

① さくらFMで学ぶ

25、26日の2日間は、フレンテ西宮西館3階のさくらFMで放送の仕方を学んだ後、生放送でインタビューを受けました。

今回、さくらFMでは生放送を体験しました。インタビューも生放送も初めてだったので、最初はとても緊張しました。しかし、インタビュアーが、私たちが答えやすいように進めてくださり、安心して楽しく放送を終えることができました。とても貴重な経験ができて良かったです。

ちくざわ くるみ
築澤 来実(写真左)

③ 『宮っ子』編集委員に学ぶ

最終日の29日は、鳴尾支所2階の会議室で、『宮っ子』編集委員から『宮っ子』の編集スケジュールについて教わりました。また、西宮市の魅力や地域の出来事、学校生活などを、子どもや大人たちの視点で取材し、記事にして発信することで、多くの人に理解を深めてもらう役割を担っていることを知りました。

この活動が、西宮市への愛着や関心を高めることにつながっていることも学びました。

さの ぶんぞう
佐野 文蔵(写真右)

鳴尾地域 サークル活動めぐり⑫

太極拳で毎日「元気」に過ごしましょう！ 南甲子園「元気会」

甲子園公園では、毎週月曜日と金曜日の午前8時30分から9時までの30分間、太極拳の活動が行われています。

準備体操から始まり、気功の「八段錦」、太極拳の入門、二十四式、八十八式を少しずつ学びながら、無理なく体を動かします。参加者は60～80歳代までと幅広く、「毎日元気で過ごしたい」を合言葉に、和気あいあいと交流を楽しんでいます。

太極拳は中国で生まれ、日本では1970年代から健康体操や生涯スポーツとして親しまれてきました。ゆったりとした動きと深い呼吸により、足腰の強化やバランス能力の向上、自律神経を整える効果が期待されています。

活動は23年間続いており、健康づくりと仲間づくりの場として地域に親しまれています。参加費は無料で、祝日も実施(雨天中止)。自然豊かな公園で気持ちよく体を動かしませんか。

見学も歓迎しています。興味のある人は、ぜひ、気軽に参加してください。



毎回の練習に参加される皆さん

活動日：毎週月・金曜日（雨天中止）
8：30～9：00
活動場所：甲子園公園
問い合わせ：美濃一恵
☎080-3801-5728



今日も元気に楽しく頑張っています。続けることが一番大切です！ 右端は指導者の美濃一恵さん(甲子園公園で)

鳴尾地区5公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

	月	日	曜日	時 間	内 容	講 師	問い合わせ先
	9	12	土	14:00～15:30	時事講座 「どうなる日本・世界の経済・政治」(質問歓迎型講演) 定員:60人 対象:一般 当日受け付け	関西外国語大学 英語キャリア学部 教授 滝川 好夫	鳴尾公民館 Tel.47-3838
	9	24	木	14:00～15:30	「オカリナ演奏会」 ～楽しく知ろうオカリナの世界～ 定員:100人 対象:一般 当日受け付け	オカリナ奏者 岡嶋 正和	
★	10	17	土	11:00～15:00	武庫川女子大学文化祭訪問 大学ってどんなところ!? 定員:20人 対象:小学5・6年生並びにその保護者 (保護者同伴でなくても参加可能) 事前申込:10月5日(月)10:00～来館にて受け付け(保護者) 会場:武庫川女子大学キャンパス	鳴尾東公民館地域学習推進員	鳴尾東公民館 Tel.49-1300
★	10	26	月	13:30～15:30	筆文字アート 筆ペンを使って字を絵のように 定員:20人 対象:小学3年生以上 事前申込:10月5日(月)10:00～来館にて受け付け 材料費:500円(当日徴収)	筆文字アート 笑万書(えましょ) 主宰 赤穂 万衣子	
★	10	31	土	13:30～14:30	「恐竜のタマゴ」を作ろう ～不思議な理科おもちゃを作って遊ぼう～ 定員:15人 対象:年長から小学4年生まで(保護者同伴可) 事前申込:10月22日(木)10:00～11:00来館にて受け付け 1人で2名まで可(先着順)	認定NPO法人コアネット 小林 将浩	南甲子園公民館 Tel.49-4741
	9	9	水	13:30～15:30	第6回マチネー(matinee) 愛のあいさつコンサート 午後のひととき 思い出に残る音楽でリラックスを! 定員:80人 対象:一般 当日受け付け	ユニット レモンガラス アコーディオン奏者 桑名 恵子 ピアノ伴奏 望月 昌子 カホン・ギター 北野 幸彦	学文公民館 Tel.41-6050
	10	11	日	10:00～12:00	第15回『わくわくコンサート』 ～いつもの日曜日にハーモニーという贅沢を♪～ 定員:80人 対象:一般 当日受け付け	鳴尾吹奏楽団アンサンブル マリンバアンサンブル フルートアンサンブル クラリネットアンサンブル	
	9	27	日	14:00～15:30	音楽講座「マンドリン・ギターアンサンブル」 ～奏でる「昭和歌謡・演歌」を聴こう～ 定員:50人 対象:一般 当日受け付け	マンドリン・ギターアンサンブルバンド アルカダッシュ	高須公民館 Tel.49-1312
【地域医療講座】 講師: 明和病院医師 (明和病院の協力を得て開催している講座です)							
	10	8	木	14:00～15:30	「介護の話」 定員:60人 対象:一般 当日受け付け	訪問看護センター明和 中島 淳美 有賀 保博 嶋田 真由美	鳴尾公民館 Tel.47-3838
	9	16	水	14:00～15:30	「薬の話」 定員:40人 対象:一般 当日受け付け	医療法人明和病院 薬剤部 部長 菊井 利伸	学文公民館 Tel.41-6050

●なるお会館からのお知らせ●

初代阪神パーク歴史探検

開催日:10月10日(土)

時間:午前10時

場所:なるお会館1階ロビー

講師:武庫川女子大学名誉教授
丸山健夫

ジモレキTV案内人

コース:なるお会館 ↓
甲子園浜ライオン像前

12時30分散散予定

定員:50人

申し込み方法(参加費無料)

往復はがきに、代表者の住所・氏名・電話番号・申し込み人数(2人まで)を記入して、
〒663-8184
西宮市鳴尾町3丁目8-7
なるお会館「歴史探検」宛てに
9月1日(火)～15日(火)必着。
応募者多数の場合は、抽選
後に当落のお知らせを9月25
日までに返信します。

問い合わせ:なるお会館
☎0798・46・8200

祝日を除く火・金曜日9～16時
(来館、または電話)

主催:公益財団法人 鳴尾会

※警報がでない限り雨天決行

年間約 **3400MWh** 発電! 西宮バイオガス発電プラント運転開始

都市型
バイオガス
発電

阪神間初

バイオマス廃棄物の有効活用

再生可能エネルギーの創出

GOOD HOLDINGS 株式会社リヴァックス 〒663-8142 西宮市鳴尾浜2丁目1-16 TEL.0798-47-7626

リヴァックス バイオガス

広告